

目指すは遥^{はる}か道の先 高き巨人の肩の上
長き時間の積み重ね、新たな知への足掛かり

如何^{いか}に月日を賭^とそうとも、歩みは依然^{ちか}遅々として
世紀の壁を越えられず、巨人の膝にしがみ付く

道の長さを悟りつつ、遠き理想に手を伸ばし
賭した月日を惜しむ故、退^ひけぬこの身の愚かしさ
自らそれを笑いつつ、なおも巨人に食らい付く

なんと愉快な二才のぼやき